

## ひと・夢・まち 町長コラム

### 流行を勘違いしていませんか？（令和2年4月号） 西郷どんの教えその11

文明開化が進む明治初期の情勢と背景は、西洋文明を称え崇拝するという世情が極めて強かった。西洋文明によって、科学の進歩、新しい産業の芽生え等に大きな期待感がもたれていた。また、その反面西洋の文明の名のもとに、植民地化を進め、有色人種の差別化も行われ、強引な交渉などによる不平等な外交も行われていた。そんな時代の流れの中で、西郷さんは疑問を持ちながら時代の荒波を感じていたのかもしれない。前回のコラムに続いて、国づくりの考え方の基本についての話になりますが、目新しいことを取り入れることを「文明」ということではないと西郷さんは言っています。文明とは、「道に叶ったことが世に広く行われることを称えて言う言葉であって、建物が荘厳であるとか、外観が華やかであるとかを言うのではない。流行ばかりを気にして行動することはどうなのか」と問いかけています。

「流行って先に行くことじゃない。どれだけ正しい行いができるかだ」